

洋画の部

◆総評◆

今年も例年と同様、どの作品も非常に見るものがあり、作者の熱意が伝わってきた。審査員から出品者の皆様の描く気持ちに拍手を送りたい。今年は作品のバラエティーの幅が広がり、グラフィックな表現から抽象、シュールな表現、神戸の風景や街をていねいに描写するなど、生成 AI の時代、人間の手で道具を使って描くことの大切さを改めて思う。惜しくも落選した方も受賞者も、今後も是非描き続けてほしい。

賞名	作品名	氏名	居住地
神戸市長賞	音盤繚乱 第2楽章	小岩 眞実子	灘区
みなと銀行文化振興財団賞	巳	maki'in	東灘区
神戸芸術文化会議賞	記憶、哀・愛→未来	松原 隆志	東灘区
神戸市民文化振興財団賞	日づけのない記憶	高萩 典子	中央区
神戸労働者福祉協議会賞	白い街 III-2	高倉 正和	東灘区
神戸新聞社賞	都市のデリケート	G/gumi	東灘区
佳作	園芸店	水本 智子	垂水区
	猫姫の水遊び	蜜山 虎男	須磨区
	いただきま〜す!	原 清	西区
	Being and Time	赤木 秀明	東灘区
	Keelung 街の鼓動	まどま	須磨区

■神戸市長賞

様々な工夫を凝らした円が絵の中で音やリズムを奏でている。美しい音の下で、ドライポイントの黒が通奏低音の様に響いている。作者の思い、テクニック、感性がピッタリと一致して市長賞にふさわしい作品となっている。

■みなと銀行文化振興財団賞

モザイク調の画面の中、巳を象徴したデザイン的要素の多い絵画であるが、完成への努力が伝わって来ることを評価した。

■神戸芸術文化会議賞

鉛筆の線描、色鉛筆の柔らかいかすんで消えつつあるようなタッチが、多く描かれた神戸のシンボルとともに、遠い辛い過去を思い出させる。幼児から大人へと、虹の描写とともに未来へと繋がっている。

■神戸市民文化振興財団賞

シンプルな構成だが厚みのある造り、英文字の紙、白い絵具、数字の凸部などが、人の記憶の強弱を伝えてくれて、見る人の記憶も掘り起こしてくれる。作品の上に堆積した時間が伝わってくる。

■神戸労働者福祉協議会賞

モノトーンの画面に線描で、単純化した建物。平面的な表現でありながら、存在感を感じさせられる。単純化した難しい構図であるが、それがかえって寂しい街、白い街を彷彿させる。

■神戸新聞社賞

小さい画面ではあるが夢ある未来の都市空間を連想させる広がりを持つ美しい絵だ。物や形にとらわれずスケッチ風に夢を画面に定着させている所が良い。